

# 企業と地域を結ぶ情報コミュニケーション誌

# うめナビ

2020.4  
Vol.97

## 全国の産婦人科開業医を中心に 病医院のイメージアップを デザインの視点からサポート!

ブレンワーカーHOT

ブレンワーカーHOT(世田谷区用賀、加藤光昭代表取締役、03・5797・5511、<https://www.bw-hot.co.jp>)は、40余年にわたってデザインの視点から病医院のイメージアップをお手伝いしてきた。数ある診療科の中でも産婦人科を得意とし(95%以上)、クライアント様の多くは全国の開業医というユニークな企画・デザイン会社である。

具体的には、シンボルマーク、WEBサイト、診察券・葉袋・パンフレット・テキストといった印刷物、道路脇や駅の看板、院内外のサインなど、病医院に関連したさまざまな広報やコミュニケーションアイテムの立案・制作を手がけている。同時に、産婦人科病

院向けの通販事業として、出産記念品、アメニティ、各種カード類、院内備品など多種品目の販売も行っている。

さらに、病医院の新築・増築・改修といったご相談にも、複数の設計やインテリア協力事務所と連携し、のべ30年全国でプロデュース(総合監修)してきたノウハウで応えてくれる。

言うまでもなく、産婦人科は女性専門の診療科だ。IT全盛の現代でも、「病院選び」のマストポイントやはり口コミ!そしてその発信の核となるのは女性、女性が選ぶ病院づくりが不可欠と言える。そこを長年サポートしてきた同社ならではのスキルをご活用いただきたい。



## 町田市築150年の古民家再生 日本の四季を感じながら 茅葺屋根の軒下で特別な時間を

みんなの古民家  
"TokyoHeritage"

古民家再生LABOが運営する「みんなの古民家『TokyoHeritage』」(町田市能ヶ谷、石川健代表、080・5039・4863、<https://www.minna-no-koinka.jp/>)は、築150年の茅葺古民家を活かしたレンタルスペースである。元々は16代続く農家の母屋として40年前まで使われてきたが、家族が隣に建てた新築に引っ越してからは「空き家」となった。「空き家」は傷みやすく、特に茅葺屋根は20年に1度葺き替えをしなければならぬ。2015年はまさに葺き替えの時で、1000万円という見積りに取壊しの話も出る中、少しでも可能性を探るべく、起業した。

取壊し寸前のボロ家を借りる人なんているのかと懐疑的な声に反し、意外にもコスプレイヤーからの人気が高い。家族一丸で丁寧に対応を続けるうちに週末は常に予約で埋まり、年間3000人の来場、300万円の収入を確保するまでになった。

増収で茅葺屋根を修繕する目的も立ったが、一過性のブームに終わらせないためには定期的な家開きが必要だった。オープンハウスイベントとして紙芝居や折り紙ワークショップ、1日限定カフェを開くと、地元の方が気軽に立ち寄ってくださった。「今まで気になっていたから、中を見られて話も聞いてよかった」という声もいただき、世代を超えた新たな交流が始まっている。

これからも、『みんなの古民家』はもう家族だけのものではない」と言える持続可能な家づくりを進め、地域にとっても安心でき、かつ誇れる憩いの場となるようなアイデアを練る日々が続く。



自然豊かな風景と趣ある古民家で...  
新たな交流の形を

### うめナビ 送付先業種



商社  
6先



スーパー・小売・百貨店  
28先



メーカー  
15先



マスコミ・出版  
32先



教育(大学・専門学校)  
34先



官公庁  
35先



ホテル  
8先



金融  
48先



建設・不動産  
13先



システム関連  
9先



その他  
41先

合計  
269先

※本誌は、城南信用金庫のお取引先に配布する他、商社、百貨店、スーパー、メーカー、マスコミ、大学等にもお届けしています。

# 2005年からマラサダ一筋！ メディアも注目！ ハワイアンドーナツ ふわふわ揚げたて食感を自宅でも

LFC Exchange

LFC Exchange（横浜市保土ヶ谷区法泉、神谷亮廣代表取締役、045・444・9640）が、マラサダというドーナツを日本に上陸させてから15年以上。

日本で初めてマラサダの販売を始めた頃は、自家用キャンピングカーを移動販売車に改造して湘南中心に小売販売のみだったが、知っている人もほとんどおらず、日に30個も売れないような毎日だった。現在は、全国約200店舗にマラサダの冷凍生地の卸売をしている。横浜市、広島県、大阪府の3カ所を発送の拠点到、全国のレストラ

ンやカフェ、居酒屋チェーン、コーヒショップ、ホテルなどへ出荷する。

最近の売れ筋は、調理済でレンジで温めれば提供できる簡単マラサダ。人手やスペース、調理器具などの不足を補う優等生として、多くの飲食店に採用されるとともに、「BRUTUS」誌の「日本一のお取り寄せグルメ」特集にも掲載され、ネットショップでも人気を博している。

この「レンジでチンするだけのマラサダ」は横浜の工場ですべて揚げているが、曜日限定で週3日行う揚げたてマラサダの直売には、地元だけでなく遠方からもお客様が集まる。直売所では、クリームをたっぷり挟んだカラフルな「天使のマラサダ」なども好評だ。

手作業の小さな工場なので、ロットでのドーナツOEM製造も受け負い、切り込みを入れたドーナツ、カラフルな装飾のドーナツ、クリーム入りのドーナツなど、お客様の要望に沿ったドーナツを製造受託している。



ハワイの揚げドーナツ「マラサダ」



クリームやフルーツをたっぷり挟んだ「天使のマラサダ」



新商品の、コナコーヒーを使用した日持ちのするオリジナルドーナツも人気！

# 試作品、単品、量産品、 難削材、難形状、組立… 金属加工なら澄川精密にお任せ

澄川精密



量産加工専担の工場で、自動車・飛行機などに用いる大型部品の組立作業中。分業化により効率を上げている

澄川精密（大田区南六郷、澄川勉代表取締役社長、03・6385・0348、<https://www.sumikawaseimiu.net>）は、金属加工を主業としている。大田区に事業所を5カ所有し、微細加工、中型加工、量産加工をそれぞれの工場に分業させることで道具、治具の整理などからレスポンスの速さとコスト削減を進め、より一層お客様から信頼される企業をめざしている。

短納期、高品質、低価格を実現するとともに、材質も、アルミだけでなく鉄、ステンレス、チタン、銅、真鍮、SKD、NAK、DH2F、インコネルなど幅広く対応している。中でも、同社いちばんの強みは大型部品の製造、加工だ。複雑な形状にも対応でき、他社で断わられたような難加工のご相談

も受け付けている。また、同社は組立、表面処理、溶接構造、熱処理、板金なども一括して対応可能である。部品加工など新たなチャレンジにも取組み、技術力向上に余念がない。

「もっと早くお取引したかった」「安心して任せられる」「困った時の澄川精密」といったお言葉からも、お客様からの厚い信頼が窺えるが、今までお取引くださった方とこれからも末永くお取引いただけるよう、「お客様にご満足いただける製品とサービスを提供していくために、毎日が挑戦の日々」と澄川社長は気を引き締める。

金属加工でお困りの企業の担当者様や当社に興味を持たれた方がいらっしやいましたら、お気軽に

# 「美味しいお蕎麦をできるだけ安く」 毎日召し上がってほしい 自家製麺の「三たて」蕎麦

信越食品

信越食品（大田区大森北、水信春夫代表取締役、03・3764・9618、<http://www.yudetarou.co.jp>）は、日本そば店「ゆで太郎」を経営する会社である。1994年に「ゆで太郎1号店湊店」を開店後、今日に至るまでの25年間、「美味しいお蕎麦をできるだけ安く、日常食として気軽に召し上がっていただきたい」という社長の想いを受け継ぎ、全国で美味しいお蕎麦の提供を続けている。

フランチャイズ展開の中も、美味しいお蕎麦の条件である三たて「挽きたて」「打ちたて」「茹でたて」にこだわり続け、指定の製粉所で丁寧に挽いた蕎麦粉を各店舗へ。毎日、お客様の目の前で挽きたての蕎麦粉を打ち、目の前で茹で上げる。手間も設備も必要とする仕事だが、美味しいお蕎麦を召し上がっていただくために一切妥協しない。

また、そばつゆもこだわりの逸品だ。厳選した国産の鰹の枯節を原料に使用することで、味と出汁の深みを追求している。江戸風の少し濃い味つけなので、最初の一口は下半分くらいをそばつゆにつけて召し上がると、蕎麦の風味がしっかりと感じられる。

さらに、サクサクとした揚げたての天ぷらはお蕎麦との相性抜群！各種丼ぶりもサイドメニューとは思えないボリュームで、お好みの蕎麦と合わせて空腹を満たしてほしい。

期間限定の「季節のメニュー」もおすすすめ。旬の食材を使用した普段とは違うお蕎麦を、ぜひ最寄りのゆで太郎でお召し上がりください。皆様の健康にお役に立てるよう、社員一同真心込めて、美味しいお蕎麦をお届けいたします。



創業時からこだわりの「挽きたて」「打ちたて」「茹でたて」美味しい蕎麦



# 「農家の方々へ一流の商品をご提供」 再生プラスチック製軽量敷板 『リピーボード』で農業をより安全に

モチヅキ

モチヅキ（世田谷区野沢、湯田博文代表取締役社長、03・3410・3521、<http://moti-gm.com>）は、農業・住宅建築・土木・工業関連機器資材の販売を手がけている。

1928年の創業以来「企業を通じて、国家、社会、地域に報恩し、取引先および関係者との信頼関係を最重視する」という創業者の理念を貫いている。

営業担当者が農家のお客様と密に接することによりニーズをきめ細かく把握し、「どうすればお客様がより農業をやりやすくなるのか」を常に追求している。農業用品の展示会にも積極的に参加し、さまざまな製品を吟味したうえで一流の商品をラインナップしている。

農家のニーズを漏れなく満たすために取揃えられた商品は現在767種類にのぼるが、さらに使いやすい商品を増やしていくためにメーカーとの共同開発にも着手している。

2018年より取扱いを開始した『リピーボード』は、厳選された商品の中の一つである。同商品は、コンバインやトラクターなどの農業用

機械が通る際に、タイヤやキャタピラが水気を含んだ地面にめり込み転倒してしまうのを防ぐもの。重機を使用しなければならぬほど重い鉄製の敷板に対し、このボードなら4×8判で約40kgと大人二人で楽に運べる。廃電線から抽出した高品質なポリエチレンを素材に使い、使用可能寿命は約30年と耐久性も申し分ない。

一見安全に思える農業においても、農業機械の転倒といった死傷につながる事故が後を絶たない。「危険が伴う農業を当社の商品でより安全にやりやすくできるような後も尽力したい」と、湯田社長は熱い想いを語る。

農業をより安全に行えるラインナップ：  
再生プラスチック製軽量敷板『リピーボード』



# 老舗そば店の暖簾を守り抜く 鴨肉の脂と旨みが絶妙な逸品 名物「きざみ鴨せいろ」を堪能

鶴見 田中屋



「鶴見 田中屋」の看板メニュー  
「きざみ鴨せいろ」

な事業承継に取組んできた俊弘氏にとって、長男だけでなく次男にも「跡を継いでもらう」ことが夢だった。一昨年秋オープンした「鶴見 田中屋」はその念願を叶えた店だ。出店にあたって設立した新会社（株）田中屋の代表取締役は、兄弟が切磋琢磨し、伝統の味を守ってほしいという俊弘会長の想い入れが詰まっている。

「鶴見 田中屋」の名物は、「きざみ鴨せいろ」（商標登録済）。二段重ねのせいろ蕎麦に、細かく刻んだ鴨肉と葱がみっちり入った汁。汁の上部に厚く鴨の脂の層ができる器を特別注文し、汁が冷めにくくなる工夫も取り入れている。鴨肉の上質な脂と鴨汁の旨みのバランスが絶妙で、鴨特有の風味をしっかりと感じられる逸品である。「きざみ鴨せいろ」のお土産商品も販売中なので、ご自宅でもぜひお楽しみいただきたい。

鶴見 田中屋（横浜市鶴見区豊岡町、鈴木宗大代表取締役、045・717・9863）は、横浜市の有名そば店「平沼 田中屋」暖簾分けの名店である。

「平沼 田中屋」は、人通りの少ない商店街の一角ながら、昼夜賑わう繁盛店。1920年創業の老舗を、1989年に三代目の鈴木俊弘社長が、店舗改装とともに出前型から店売り一本のそば店へと大転換を図って成功。「平沼 田中屋」の現社長は、俊弘氏の長男で四代目の鈴木弘文氏。2014年、俊弘氏が（有）田中屋そば店の取締役会長に、弘文氏が代表取締役役に就任した。

「子供に跡を継いでほしい」という熱い信念のもと、早くから店の手伝いを通じ飲食店への理解を深めるといったスムーズ



「きざみ鴨せいろ」のお土産商品もおすすめ！

# 「お客様との一期一会を大切に」 高級感あふれるスイーツを気軽に！ 自分へのご褒美にも特別な贈り物にも

アンサンク Patisserie UNCINO



目にもおいしい！  
さまざまなスイーツが  
彩るショーケース

と「お客様との一期一会を大切にしたい」というオーナーシェフの想いをこめている。

繊細で上品なケーキやスイーツは、生クリームなどの甘さを少し控えて素材のおいしさをちゃんと味わえる大人向けの仕上がり。見た目も美しく、迷いながら選ぶ時間も楽しい。

ショーケースに並ぶケーキの多くは一人用だが、誕生日や特別な贈答時には、事前に予約すればホールケーキもご用意可能である。母の日やクリスマスなどの

さまざまな雑誌のスイーツ特集にも取り上げられるほどの注目店「Patisserie UNCINO」（品川区南大井、木村憲通オーナーシェフ、03・6450・0593、<https://ja-jp.facebook.com/patisserieuncino/>）は、スイーツ好きの女性からカップルや家族連れまで幅広くターゲットにしているほか、贈答用などの手土産に選ばれることも多く、人気を博している。

木村シェフは、パークハイアット東京やマンダリンオリエンタル東京などの五つ星ホテルで10年間腕を磨き、2014年6月に同店をオープン。高級感漂うケーキを自宅で気軽にいただける評判で、幅広い層に支持されている。

店名のアンサンクとは、フランス語の「アン1」「サンク5」を合わせてフルーツの「イチゴ」



気軽に立ち寄りやすい  
落ち着いた内装

# 多くの方々に「本当の肌の健康」を… 素肌本来の働きを大切に守る スキンケアブランドを展開

日東精肌

日東精肌（渋谷区桜丘町、木村大代表取締役、03・5422・3410、<https://www.nitto-seiki.jp/>）は、昨年9月、日東電化工業株式会社ヘルスケア事業部営業部門が独立・創業した化粧品販売会社である。

を増やしてお肌が若々しくなる美容液シリーズ OLIGOLOGIC（オリゴジック）、SDGsに沿ったコンセプトで小売業AEONのオリジナルブランドのボディケアシリーズ Uiko&Peko（ウッコペッコ）などだ。いずれも、デザイン性や肌本来の働きを活性化させる機能性が高く、SDGsなど社会貢献にもつながり、使い続けたくなる製品を取揃えている。ぜひ一度お試しください。

日東電化工業は金属表面に錆びさせない皮膜を施す表面処理メーカーとして1950年の創業（設立は1959年）以来、多くの自動車や電化製品の部品に自社技術が採用され、日本のものづくり技術の一端を担ってきた。また、長年培った化学の知識をさらに活かして、2004年にヘルスケア事業部を設立、スキンケア製品の開発・製造・販売を開始。2014年には木村氏が広告業界より転職して東京事務所を開設、ブランド数や販売チャネルも増え、5年で年商が約10倍に増加したところで、お客様へのサービスをより充実させるべく、同社の創業に至った。

木村代表は渋谷で約20年間広告業に従事してきたが、日東電化工業の広告を担当し「本当に肌のこと、健康のことを考え抜いた製品」に触れたことで、人生が180度変わってしまったという。「絶対に自分でこのものづくりに関わってより多くの方々に『本当の肌の健康』を届けたい」と考えて転職し、よりよい製品を開発し続けてきた。製品ラインナップとしては、新生児から使えるとことんやさしいスキンケア kodomonesno（こどもねすの）や、最近話題の「美肌菌」



話題の「美肌菌」で若々しいお肌に！  
美容液シリーズ「OLIGOLOGIC」



新生児の肌にもやさしいスキンケアブランド「kodomonesno」

# 発明に関する支援&商品開発 小さなアイデアを守る画期的な 知財訴訟費用保険を発売開始！！

発明ラボックス



発明教室の松本代表

発明ラボックス（新宿区大久保、松本奈緒美代表、03・6273・9360）の起業は、松本代表自身が「お金をかけない発明」をモットーにアイデア商品を考え、数々の企業とライセンス契約をしてきたことがきっかけである。現在、個人会員約1万人、ツイッターフォロワーは約4万人にのぼり、アイデアを権利化する支援および商品開発などを手がけている。

またまった会員数のもと、同社は昨年12月より「発明ラボックス会員専用・知財訴訟費用保険（引受会社・あいおいニッセイ同和損害保険会社）」の販売を開始した。同社会員は個人が多く、権利を取得しメーカーにアイデアを売り込んでも「個人が権利者か、無視して商品化しよう」といったことが、実はしばしば起きていた。個人や中小企業なら、費用をかけてメーカーを訴えてこないだろうとの計算が背景

にある。こうした問題を解決するために、この保険加入者は、第三者に侵害され訴訟等を起こしたり第三者から権利侵害を提起され訴訟等になった際の裁判費用が補償される。遡って裁判の弁護士報酬のみならず、鑑定費用や警告書費用なども補償するという、これまでにない画期的な保険である。特約になるが、採用してくれたメーカー（専用実施権者、独占的通常実施権者、販売委託契約、販売代理店契約またはライセンス契約等の契約関係のある者）も、保険期間中に、権利者から訴訟の提起等を受けたものが補償の対象になるので、メーカー側もメリットがあるので、

発売と同時に大変好調な売れ行きである。個人のみならず、権利者が法人の場合もご用意しているので、ご興味ある方はお気軽にご連絡ください。

知財訴訟費用保険

発明ラボックスサイトへもアクセスしてみてください！  
<https://www.hatsumeilabox.com>



ライセンス先の展示会にて

# 「安心して呼吸できる空間」へ 無公害で身体にやさしいエコペイント 最先端の塗装技術で快適な現場！

アバント



人にも環境にもやさしく…  
同社にお任せください！

人体に有害な物質が入っていないアメリカの「ケリーモア社」などの塗料を使用し、「安心して呼吸できる空間」を追求した仕様になっている。また、さまざまな色味やつやも忠実に調合できるブレンドカラーシステムで、色、光、空気など無限の色彩の中からお客様の希望に叶ったペイントカラーをお選びいただくことが可能である。

アバント（大田区鶴の木、工藤陽一代表取締役、03・3759・9389、<http://www.p-avant.com/>）は、塗装業を主業とし、「快適な空間を創造する」ことを企業理念に、人が活動する空間をいかに快適なものにできるかを追求している。

絶えず進歩する現代社会のニーズに答え、洗練された心地よい空間づくりをお手伝いすることが同社の使命であると考え、同社では、身体にやさしいエコペイントも推奨している。

オフィスビル内の原状回復工事や入居工事、店舗テナントの新規出店塗装工事、また、個人のお客様の住宅や外壁塗装と幅広く対応可能なので、業者様、個人のお客様問わず、何なりとご相談ください。

自然光も活かしたエコペイントの施工事例